

ぶらっと 柏 ぴんぽ

第30回 根戸近隣センターから歩く

このコーナーでは、地域のかたの情報を基に見つけた珍しいものや歴史などを紹介します。新たな魅力探しに、健康づくりに、あなたも「柏さんぽ」してみませんか？

☎ 広報広聴課 ☎ 7167-1175

〈根戸近隣センターへの行き方〉

☒ 柏駅西口から、三井団地・布施・野田方面行きバスで「布施入口」下車、徒歩5分



今号で取り上げられなかったスポットも掲載



◀ 詳しい地図はこちら

① 布施城跡の石碑
戦国時代を生きた守谷相馬が水上権確保などのために城を築いたそうです

② 市民を守る消防士
運が良ければ、消防士さんが訓練している姿を外から見られるかも

③ バオバブの木
地球上最古の木といわれています。これはレプリカなので枯れません

④ そら豆模様のガードレール
ガードレールには羽を広げた小鳥が止まっています、通学する子どもたちを見守っています

⑤ 地域の目印「常夜灯」
布施弁天通りの入り口にある常夜灯。弁天様を目指すための目印だったのかな

⑥ 絶景の富士山
空気が澄んだ冬の時期には、この場所から富士山が見えるんだとか

地域のかたのイチオシスポット

1 地元の氏神「香取神社」

江戸時代、利根川水運の船着き場・布施河岸として繁栄した旧布施村の鎮守様。本殿にはひのき彫刻が施されています。

2 国立病院の面影

病院の入り口近くには、旧国立柏病院(現市立柏病院)の門柱に使用されていた文字が残っていて、当時の名残を感じることができます。

教えていただいた皆さん

▲ (左から) 鈴木早苗さん、秋山宏夫さん、坂巻勝さん

3 富勢運動場のモザイク画

障害のあるかたによって作られた、石モザイクの作品の数々が飾られています。描かれた花々は四季を問わず楽しむことができます。

広報紙担当の
がらカニ 体験記

「昔の根戸には陸軍の兵舎があって、子どもの数が多い時代は、教室の代わりに兵舎で授業を受けることがあったんだ。教室の床の下には防空壕(ごう)が残っていて、ふたを開けると防空壕の中に入ることもできたんだよ」と地域のかたが昔の思い出を語ってくれました。

実際に歩いてみると、今回紹介した布施城跡の石碑や、旧国立柏病院の門柱で使用していた金属製の文字が残されているなど、地域のさまざまな歴史に触れることができました。

暑さが落ち着くこの季節、秋の訪れを感じながらゆっくりとお散歩を楽しんでみてはいかがでしょうか。

◎ 運動企画「フレイル予防ウォーキング」を開催。詳しくは、本紙10面で確認を

次回(11月1日号)は
新田原近隣センター
から歩く お楽しみに!